

あいち森と緑づくり 提案型里山林整備事業地（田原市加治町）の概要

1 事業目的

集落周辺の里山林を、森づくり活動の場、里山体験学習の場等として活用するため、地域住民等からの自発的な企画提案をもとに、里山保全技術面等の支援を行い、「参画」と「協働」による里山林の再生整備を図る。

2 事業内容

(1) 場所・面積

田原市加治町奥恩中地内 3 h a

(2) 所有者

加治区自治会

(3) 事業地の概要

事業地は田原市の中心から南西へ約2.4kmの場所にあり、衣笠山（標高278m）、滝頭山（275m）、藤尾山（205m）を構成する山塊の最南部の裾野部にある。周辺には県立渥美農業高校や田原市立南部小学校、市営緑ヶ丘住宅や住宅地があり、市民にとって身近で貴重な里山林を形成している。

(4) 事業地の林況と植生の概況

常緑広葉樹では、クロバイ、カクレミノ、スダジイ等の高木層、落葉広葉樹では、コナラ、ヤマザクラ等が高木層を形成している。亜高木層、低木層はウバメガシ、ヒサカキ、センリョウ、モチツツジ、クサギが優占している。草本層はベニシダ、テイカカズラ、ネザサ、サルトリイバラ等からなっている。

(5) 田原市としての位置づけ

「田原市緑の基本計画」（平成19年3月策定）において、自然保全・緑化活動推進のための重点施策として「山地の保全」があげられ、里山の維持管理を市民との協働で実施することとしている。事業地周辺は田原市緑の基本計画では「シンボル拠点」として、田原市の環境基盤となる自然環境の保全・再生を図るため、里山保全活動を推進し、人と自然をつなぐネットワークを形成する場として位置づけされている

(6) 整備内容

	内 容
管理道 400m	継続的に里山保全管理を行うために、軽自動車、間伐材等の運搬や作業効率向上のために活用する。
作業歩道 528m 木製階段工 116段	里山林内の保全管理活動に日常的に利用する。また、自然学習の場としての里山林の活用を促進させる。
休憩舎 1棟	里山保全活動のための休憩舎兼避難場所として利用する。また、里山林を散策する人の休憩場所としての利用も想定される。なお、小屋内には掲示板を設置し、里山保全活動のPRの場として利用する。里山林で行うソフトプログラムの展開の前線基地として利用を検討する。

(7) 工事の概要

請負者	壽鑛業株式会社
契約金額	22,260,000円
契約期間	平成21年11月3日から平成22年2月26日まで

3 保全活用状況

(1) 住民等参加の仕組み

田原市加治区自治会では、「田原市里山保全アドバイザー養成講座」修了生を主力メンバーとする「里山保全山遊里」（登録者42名、平成19年11月発足）を組織して、区有林の二次林や人工林の保全活動を実施している。

(2) 維持管理状況

「山遊里」では、平成21年度には「平成20年度里山林再生整備モデル整備事業」で愛知県が整備した里山林約3haの保全、ヒノキの人工林の間伐と間伐材利用作業、11月末から着工した「提案型里山林整備事業」による伐採木の林産物利用を行っている。

(3) 21年度の活動日、活動内容と活動参加人数

活動日	活動内容		参加人数
3月29日	ヒノキ搬出	加治区所有の人工林で間伐したヒノキの搬出作業をした。	13名
4月12日	ヒノキ皮むき、椅子製作	作成した椅子は、翌週の田原市民緑花まつりで展示販売したところ、大変好評だった。	13名
6月21日	椅子製作、片付け	予約注文を受けた椅子の製作をした。	14名
7月4日	間伐、杭制作	里山林で木杭をつくるため、間伐し、杭を製作した。	6名
10月11日	台風18号被害倒木処理	歩道へ倒れてきたモリシマアカシア等の倒木を、協力して伐採し、片付けた。	7名
11月30日	提案型整備地伐採コナラ処理	椎茸の原木として活用するため、玉切りや整理を行った。	7名

(4) 活動状況写真



台風18号被害木処理



台風18号倒木片付け



提案型整備地コナラ片付け

(5) 今後の活動予定

継続的に里山林保全活動を行い、提案型の里山林については、多様性を与えるために常緑広葉樹林から、明るい落葉広葉樹林への一部転換を目指すために、常緑広葉樹の間伐を行う。転換の方法は、「ギャップ」をつくり、森を部分的に若返らす。間伐した材は作業用歩道の管理材料や林産物生産に使用する。また、維持管理の成果を確認するために、市民対象の自然観察会を通じて継続的なモニタリング調査を行い、成果を検証する。モデル事業地については、明るくなった里山林の多様性について調査モニタリングを行い、今後の管理手法について計画検討する。

(6) その他

田原南部小学校では毎年、全校生徒が藤尾山登山を実施しているが、里山林整備工事が終了後は登山道として利用したい意向がある。また、渥美農業高校については体育系サークルが鍛錬の場として活用が考えられる。地域住民や市民については、「たはら里山の会」が視察研修の場として計画を行っている。また、「広報たはら」やその他メディアを通じて、工事完了後、利用を呼びかける予定である。



位置図

あいち森と緑づくり事業：里山林整備事業

提案型里山林整備事業（田原市加治町）平面図

平成20年度 里山林再生整備モデル事業
（愛知県施工）

工事概要

- ・除伐 2ha
- ・歩道 L=528m W=1.5m
- ・木製階段工 40段
- ・編柵工 100m

休憩舎

歩道3

管理道

歩道（20年度整備）

歩道2

歩道1

平成21年度 提案型里山林整備事業
（田原市施工）

工事概要

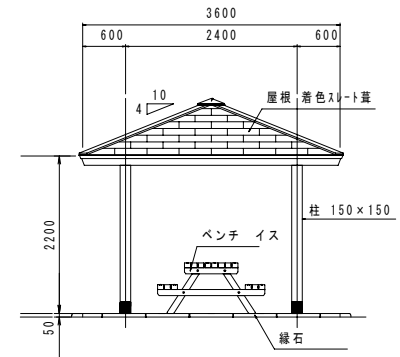
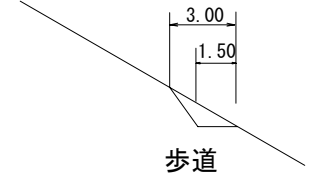
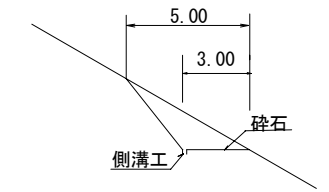
- ・管理道 L=400m W=3m
- ・歩道 L=528m W=1.5m
- ・木製階段工 116段
- ・休憩舎 木造 6㎡（2.4m×2.4m）

側溝工

管理道

歩道

休憩舎



瀨美農業高校

藤尾団地